次号予告

特　集　デイ・ケア

デイ・ケアの位置づけ……東京都心障センター　寺山久美子
精神科デイ・ケアの実態と課題……国立武蔵療養所　伊藤祐臺
精神科デイ・ケアと作業療法士の役割
……国立精神衛生研究所　吉沢きみ子
老人のデイ・ケアにおけるリハビリテーション
活動……緑寿園　澤田金吾
老人のデイ・ケアにおける作業療法……至誠ホーム　河本のぞみ
精神薄弱のデイ・ケア……東大・精神神経科　太田昌孝
講　座　運動生理学　2. 運動と筋，神経……東京学芸大学　小野三嗣
プログレス　向精神薬の最近の動向(Ⅱ)(副作用，長期服用)…慶応大学　吉田弘宗
リハビリテーション・インフォメーション
＜島根県＞……国立大田病院　竹下保男・他
＜静岡県＞……慶応大学月が瀬リハセンター　溝呂木忠・他
あんてな　身体障害者の自動車運転免許の現状…神奈川リハセンター　長尾哲男
資　料　第16回理学療法士・作業療法士国家試験
—模範解答(Ⅲ)(1981年度)

編集後記

今年は国際障害者年とはいっても既に半年経過した。カケ声のみで政府の実際の事業費はたかが9000万ほどであり推進本部が出来ていても個々の障害者に具体的に何の変化が起るのかはっきりしないし，お祭りで終りそうである。誰のための身体障害者年かわからない。

保険点数で理学療法・作業療法は他と比べて最高のアップ率を示したが施設認定に医師の基準が野放しになっているのは質の低下につながる可能性があり，ただ点数のアップのみでは人工透析の二の舞になるのではないかと心配になる。

“とびら”の秋元提言の如く地域のリハビリテーションの一環として地域作業所の充実およびそこに参加出来るような交通サービス（公費タクシーやバスなど）の充実も急務であろう。

特集は整形外科の基本的なテーマであるが，おのおの力作であり参考になる点が多い。腰痛診断の基本と最近の進歩では臨床診断の重要性が強調されているし検査の数を増やしても診断がより正確になるわけではないと記しておられる。もやしっ子の多い最近，確かに小児骨折をみる機会が以前より多い感じがするが，リハビリテーションで対応する場合の注意点が示されている。頭損の機能再建術に関しては身障作業療法で，わが国が一番遅れている分野かもしれない（欧米では既にhand therapistが出現している)。スポーツとローテーターカフ断裂は各種のスポーツ損傷を扱う可能性のあるセラピストに発生機序など特に参考になるであろう。特集論文はすべて学生にも教科書的にお読み戴きたい内容である。講座も大変興味深いし参考になる点が多く交流分析は面接・対応技術の上で，運動生理学は常にアブノーマルに対応しているものにとって今一度ノーマルに目を向ける点で参考図書リストは特にありがたい。投稿論文のレベルは徐々に向上しているようである，増々この雑誌が充実するよう読者の方々より御意見，御希望等御遠慮なく編集部までお寄せ戴くようお願いする次第である。

（荻島　秀男）

＜編集顧問＞
天児民和　九州労災病院名誉院長
五味重春　埼玉県生活福祉部
砂原茂一　国立療養所東京病院名誉院長
津山直一　東京大学教授・整形外科
水野祥太郎　川崎リハビリ学院長
(五十音順，以下同じ)

＜編集委員＞
上田敏　東大リハビリ部
荻島秀男　リハビリテーションペイン（痛み）クリニックわらび診療所
大喜多潤　兵庫県リハビリセンター
寺山久美子　都心身障害者センター
冨岡詔子　山梨日下部病院
奈良勲　金沢大学医療技術短大
福屋靖子　筑波大学
松村秩　都養育院リハビリ部

＜編集同人＞
安達克己　池田俊雄　伊東元　宇都宮初夫　大丸幸　金子翼　鎌倉矩子　紀伊克昌　木村信子　駒沢治夫　佐藤馨　嶋田智明　鈴木明子　関昌家　高橋正明　中屋久長　橋元隆　藤沢しげ子　矢谷令子　山下隆昭
(担当　細田・西塚)

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2013

2026/09/21 22:37:49